

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【公表番号】特表2011-519375(P2011-519375A)

【公表日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-027

【出願番号】特願2011-507449(P2011-507449)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/395 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/24

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 47/48

A 6 1 P 35/04

A 6 1 K 31/395

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月1日(2012.5.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒトにおいて腫瘍進行を予防する方法であって、3日より長い期間、CRFを含有する組成物を2mgより多い1日総投与量で、腫瘍を有する可能性のあるヒトに投与することを含む、上記方法。

【請求項2】

ヒトにおいて腫瘍進行を予防する方法であって、3日より長い期間、CRFを含有する組成物を投与することを含み、CRFを腫瘍進行を阻害するのに有効な用量で腫瘍を有する可能性のあるヒトに投与する、上記方法。

【請求項3】

組成物を断続的に投与する、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

組成物を5日より長い期間投与する、請求項1または2に記載の方法。

【請求項5】

組成物を断続的に投与する、請求項4記載の方法。

【請求項6】

組成物を7-14日より長い期間投与する、請求項1または2に記載の方法。

【請求項7】

組成物を断続的に投与する、請求項6記載の方法。

【請求項8】

該方法がヒトにおける腫瘍進行をモニタリングすることを更に含む、請求項1または2に記載の方法。

【請求項 9】

腫瘍が脳腫瘍である、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 10】

脳腫瘍がグリア芽腫、グリオーマ、上衣腫、星状細胞腫、髄芽腫、神経膠腫、乏突起膠腫、または髄膜腫である、請求項 9 記載の方法。